

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【公開番号】特開2002-135617(P2002-135617A)

【公開日】平成14年5月10日(2002.5.10)

【出願番号】特願2001-185090(P2001-185090)

【国際特許分類】

H 04 N 3/23 (2006.01)

G 09 G 1/04 (2006.01)

【F I】

H 04 N 3/23 Z

G 09 G 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月9日(2008.6.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

供給された入力駆動信号に応じて偏向電流を生成する垂直偏向增幅器と、

該垂直偏向増幅器の出力に接続された垂直コイル及び該垂直偏向コイルに水平レートクロストーク成分を生じさせる水平コイルを有し、該偏向電流に応じて垂直偏向場を生成する偏向ヨークと、

該垂直偏向増幅器の入力と結合され該偏向電流を検知し帰還信号を形成する電流検知器と、

水平偏向変圧器から電圧信号を受信し、該水平偏向変圧器からの前記信号の微分を生成し、補償電流信号を形成する微分回路網と、を有し、

該回路網は、該電流検知器と接続され、該補償信号を該帰還信号と結合し、該水平レートクロストーク成分を実質的に除去する、水平偏向クロストーク歪みの影響を受ける垂直偏向装置。

【請求項2】

該帰還信号は該垂直偏向増幅器と結合され、該駆動信号の負帰還制御を提供する、請求項1記載の垂直偏向装置。

【請求項3】

該電流検知器に接続された該補償信号は、実質的に前記偏向電流に生じる該水平クロストーク成分の反転である、請求項1記載の垂直偏向回路。

【請求項4】

該補償信号は該水平周波数信号の微分である、請求項3記載の垂直偏向装置。

【請求項5】

該電流検知器は該垂直偏向ヨークと直接接続された抵抗器を有する、請求項1記載の偏向回路。

【請求項6】

該補償回路は、該水平偏向変圧器の2次巻線と該電流検知抵抗器との間に接続される、請求項5記載の偏向回路。

【請求項7】

該水平偏向変圧器はカップリングのフライバックパルスを生成し、該補償回路内の微分

により該補償信号を形成する、請求項1記載の変更回路。